

# 令和5年度 北九州市環境未来技術開発助成（予定）①

## ➤ 制度概要

「循環型社会」及び「脱炭素社会」の実現に向けた市内の環境技術の集積及び環境産業の振興に資するため、新規性、独自性、実現性の高い「環境技術」の研究に対して研究開発費の一部を助成します。

## ➤ 助成の種類と対象分野

種類		対象分野	限度額
実証研究	事業化 チャレンジ枠	実証研究のうち事業化及び雇用創出が特に見込まれる研究	1,500万円
	一般枠	廃棄物処理・リサイクル技術、環境保全技術、環境に配慮した製品開発技術、新エネ・省エネ技術の研究開発	1,000万円
社会システム研究		原料の確保や物品の流通など、循環型社会および低炭素社会の実現に向けた社会経済システムの研究開発	200万円
F S 研究		実証研究を行う前段階としての技術的内容、市場性及び経済性等の調査・研究	

※助成率は、「市内中小企業」、「市内の大学等＋市内中小企業」、「その他」により異なります。

# 令和5年度 北九州市環境未来技術開発助成（予定）②

## ➤ 助成対象者

種類	要件
実証研究	①北九州エコタウン実証研究エリア内で「実証研究」を行う者（原則） ②実証研究エリアで実施することが困難等、相当の理由がある場合で、かつ <u>市内</u> で実証研究を行う者
社会システム研究	① <u>市内</u> に事業所（研究機関を含む）を置く企業であって、主に <u>市内</u> で研究開発を行う者 ②市内企業と共同で、主に <u>市内</u> で研究開発を行う者
F S 研究	① <u>市内</u> に事業所（研究機関を含む）を置く者 ②市内企業と共同で、研究を行う <u>市内</u> の者

## ➤ 助成対象経費

令和5年4月1日から令和6年2月28日の期間中に研究開発に要した経費が対象となります。

- ①原材料費、消耗品費、②機械装置等の購入費※、③機械装置等のリース料等、④外注加工費、⑤直接人件費、⑥外部講師等技術指導費、⑦工業所有権の導入経費、⑧調査費、旅費、⑨その他市長が認める経費

**※機械装置の購入費については10万円未満が対象です。**

# 令和5年度 北九州市環境未来技術開発助成（予定）③

## 重点分野

研究テーマのうち、市が重点的に支援する研究分野です。

- ①希少金属・資源のリサイクル
- ②新エネルギー・省エネルギー及び工場廃熱等未利用エネルギーの導入・普及
- ③水素エネルギーの導入・普及
- ④バイオマスの活用
- ⑤プラスチック関連分野
- ⑥脱炭素関連分野

## 審査について

採択にあたっては、以下の項目について総合的に審査します。

- ①研究の必要性、②研究の新規性・独自性、③目的の明確性、課題解決方法の妥当性、④計画の妥当性、⑤市内での事業化、⑥北九州市への貢献性

## スケジュール

